

Discount Store



第57期 中間事業報告書

2005年4月1日～2005年9月30日

株主のみなさまへ



Guest First



BUSINESS
REPORT

ISO 14001



Smart
Shopping!



普段の暮らしをより豊かに・より便利に・より楽しく

DISCOUNT STORE
MrMax

(証券コード 8203)



代表取締役社長 平野 能章

もくじ

株主のみなさまへ	1
財務ハイライト	2
ミスターマックスの取り組み	3
連結財務情報	5
単体財務情報	7
会社概要	8
店舗一覧	8
株式の状況	9
株主メモ	9
株主のみなさまへのお知らせ	10

株主のみなさまへ

株主のみなさまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

2005年9月30日をもちまして、当社第57期中間期（2005年4月1日から2005年9月30日まで）が終了いたしましたので、ここに当中間期の「中間事業報告書」をお届けし、営業の概況等をご報告申し上げます。

● 第57期中間連結業績の概要

当中間期において、当社グループは、自社物流の機能を活用し、店舗作業コストの削減を進めるとともに、荒利益率の向上に努めてまいりました。

当中間期の連結決算は、主に第1四半期においてペット生体や季節家電商品の売上げが伸び悩み、営業収益は422億16百万円（前年同期比92.5%）に留まりました。一方で、荒利益率を前年同期比0.5%改善し、また、人件費、賃借料など販売費及び一般管理費を4億48百万円削減するなど、利益確保に向けた取り組みが前進し、営業利益2億93百万円（前年同期比89.4%）、経常利益4億62百万円（前年同期比62.0%）を確保いたしました。経常利益の前期比減少額2億83百万円は、前中間期において、営業外収益としてテナント解約収入2億79百万円を計上した影響を受けております。中間純利益は、固定資産の減損処理を行なったことにより48百万円（前年同期比25.5%）となりました。

中間配当金につきましては、11月25日開催の取締役会において、前年同様、1株につき5円をお支払いすることを決定させていただきました。当社は、配当の継続を重視しており、会社の経営成績及び財政状態並びに今後の見通し等を総合的に勘案しながら、安定的な配当の実施に努めてまいります。

財務ハイライト (連結決算)

(単位:百万円・百万円未満切捨)

		第54期 (2002年度)	第55期 (2003年度)	第56期 (2004年度)	第57期 (2005年度)
営業収益	中間期	45,820	47,493	45,628	42,216
	通期	92,440	93,439	89,114	—
営業利益	中間期	614	305	328	293
	通期	1,314	1,177	632	—
経常利益	中間期	811	437	745	462
	通期	1,617	1,428	1,213	—
当期(中間)純利益	中間期	440	200	189	48
	通期	687	707	480	—
総資産		80,155	78,756	77,126	76,081
株主資本		28,380	28,605	28,391	28,365
有利子負債		26,052	24,516	23,545	23,886
株主資本比率(%)		35.4	36.3	36.8	37.3
デット・エクイティ・レシオ(倍)		0.92	0.86	0.83	0.84

(注) デット・エクイティ・レシオ(株主資本に対する有利子負債の比率)

●第57期通期の見通し

2006年2月に熊本インター店(熊本市)を閉店し、同3月に熊本インターショッピングセンターを開業する予定です。POWER PRICE商品の品揃えを強化し、また、新MrMaxカードの募集を開始したことなどから、既存店売上高、お客様数、お1人あたりお買上個数とも回復基調にあります。さらに、中間期において計上した固定資産の減損処理の影響が通期においては薄まることから、2006年3月期の連結業績につきましては、営業収益853億円(前期比95.7%)、経常利益11億円(前期比90.6%)、当期純利益4億円(前期比83.2%)を見込んでおります。

当社グループは、お客様に楽しく安心してお買い物をしていただけるよう、収益力、財務体質の一層の強化とさらなる経営の効率化に努め、「お客様の普段の暮らしに必要な商品を豊富に品揃えし、安い価格で提供し続ける」というディスカウント・ストアとしての使命を果たすことにより、地域社会のインフラ(基盤)を目指していく所存でございます。

株主のみなさまにおかれましては、何卒一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2005年12月

代表取締役社長 平野 能章

商品政策

当社グループは、「お客様の普段の暮らしをより豊かに、より便利に、より楽しく」を経営理念として掲げ、そのための商品やサービスを、毎日低価格（エブリデイ・ロープライス）で提供することにより、地域社会への貢献を果たすことを基本方針といたしております。

●POWER PRICE商品

購買頻度が高く、リピート購買率が高い日用消耗品を中心に、「安さ」を訴求した「POWER PRICE」商品の品揃えを強化し、チラシや店内プロモーションと連動して、売場で一品大量陳列を行い、「安さ」のイメージの構築を図っています。

●新MrMaxカード

年会費永年無料やポイントサービス、毎月開催の「ご優待デー」など、お客様の利便性を高めた新しいMrMaxカードを導入いたしました。6月22日から募集を開始し、9月末現在で、旧MrMaxカードの約2.9倍の11万5千件のお申し込みをいただいております。今後、この新しい「MrMaxカード」を戦略的ツールとして活用することで、売上拡大と優良顧客の固定化を推進いたします。

ボリューム感で、
安さを強調

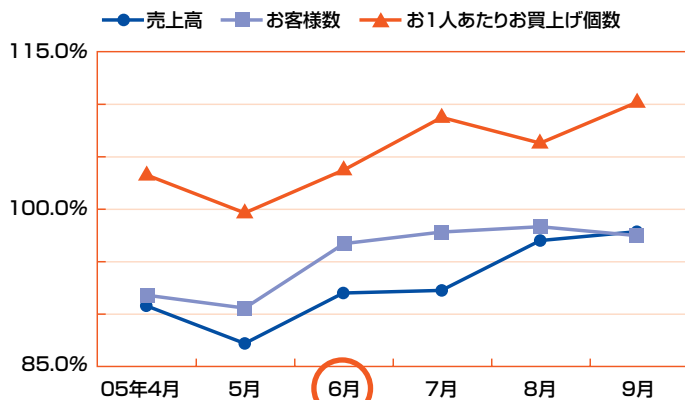


チラシでも、
POWER PRICE
商品をアピール



3色から選べる新MrMaxカード

売上高・お客様数・お1人あたりお買上げ個数の推移（既存店前年同月比）



POWER PRICE商品と新MrMaxカードを導入した6月以降、お1人あたりお買上げ個数が大幅に増加し、お客様数・売上高も回復してきました。

POWER PRICE商品 強化
新MrMaxカード 募集スタート

出店政策

お客様の利便性を重視し、ワンフロア型で、売場面積2,000坪を標準とする店舗を、中商圏型ショッピングセンター内に出道してまいります。

コア・ターゲット(中心客層)となるファミリー層の厚い都市部、特に首都圏、湾岸エリアへターゲットを絞り、出道を進めてまいります。西日本地区では、小型店のスクラップ・アンド・ビルド(閉店と建替え)を進めてまいります。

2006年2月には、既存の熊本インター店(熊本市)を閉店し、3月に、専門店や飲食店を併設したショッピングセンターのオープンを予定しております。MrMaxの売場を現在の約2.7倍に拡大し、より豊富な品揃えと快適な店舗環境を提供することによって、売上高・お客様数の増加を図ります。

また、2007年度には、神奈川県藤沢市に、神奈川県第一号店として、当社最大規模のショッピングセンターの開設を計画しております。



熊本インターショッピングセンター完成予想図

インターネットでチラシ掲載スタート

当社ホームページで、折込チラシの掲載をはじめました。

店舗のお得な情報が、ご自宅にいながら、ご覧いただけます。新聞を購読していない方や、折込チラシの配布エリア外の方など、より幅広いお客様への来店促進手段として、活用してまいります。

インターネットチラシご案内ページのアドレス
<http://www.mrmax.co.jp/shoplist/chirashi.html>



日本最大級の通信販売オンラインショップ 「楽天市場」に出店しています。

液晶テレビ、DVDレコーダーなどのデジタル家電や、化粧品などが好調で、2005年9月期は、前年同期比28.5%増の2億79百万円の売上げをあげました。

MrMax楽天市場店のアドレス
<http://www.rakuten.co.jp/mrmax/>



財務状況

(資産の部)

商品在庫の圧縮、固定資産の減損処理などにより、総資産は前期末に比べ10億45百万円(1.4%)減少しました。

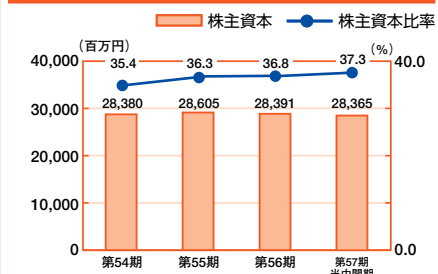
(負債の部)

建設関係の未払金が減少したことなどから負債合計が10億24百万円(2.1%)減少しました。

(資本の部)

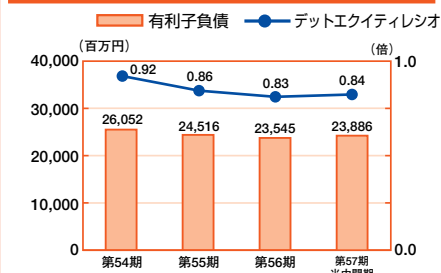
期末配当金の支払い等により、資本の額は前期末に比べ26百万円(0.1%)減少しました。

■株主資本・株主資本比率



総資産の減少により自己資本比率は36.8%から37.3%へと改善しました。

■有利子負債・デットエクイティレシオ



デット・エクイティ・レシオ(株主資本に対する有利子負債の比率)は0.84倍となり、1倍以内を維持しています。

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円・百万円未満切捨)

科 目	当中間期 (2005年9月30日現在)	前 期 (2005年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	11,804	12,157
現金及び預金	1,423	1,765
売掛金	1,212	927
たな卸資産	8,347	8,764
繰延税金資産	214	214
その他	605	485
固定資産	64,276	64,969
有形固定資産	51,610	52,418
建物及び構築物	20,995	21,670
土地	29,644	29,837
その他	969	909
無形固定資産	1,025	875
投資その他の資産	11,640	11,675
投資有価証券	1,998	1,694
差入保証金	4,634	4,780
繰延税金資産	411	486
その他	4,600	4,720
貸倒引当金	△5	△6
資産合計	76,081	77,126
負債の部		
流動負債	25,858	24,681
支払手形及び買掛金	12,735	13,009
1年以内返済予定長期借入金	10,046	7,481
未払法人税等	141	271
賞与引当金	361	403
その他	2,574	3,516
固定負債	21,795	23,997
長期借入金	13,610	15,784
退職給付引当金	373	372
役員退職慰労引当金	864	855
預り保証金	3,974	3,996
その他	2,971	2,990
負債合計	47,654	48,679
少数株主持分	61	56
資本の部		
資本金	10,229	10,229
資本剰余金	9,944	9,944
利益剰余金	9,064	9,199
その他有価証券評価差額金	93	△17
自己株式	△967	△965
資本合計	28,365	28,391
負債、少数株主持分及び資本合計	76,081	77,126

業績の概要

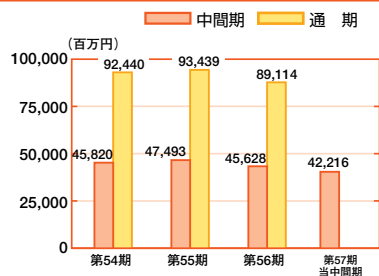
営業収益は、主に第1四半期において、ペット生体や季節家電商品の売上げが伸び悩み、422億16百万円（前年同期比92.5%）に留まりました。

利益面では、物流センター機能を活用した店舗作業コストの削減を進めるとともに、荒利益率（売上総利益率）の向上に努め、荒利益率は前年同期に比べ0.5%改善し、また、人件費、賃借料など経費（販売費及び一般管理費）を4億48百万円削減したことにより、営業利益2億93百万円（前年同期比89.4%）、経常利益4億62百万円（前年同期比62.0%）を確保いたしました。

経常利益の前年同期減少額2億83百万円は、前中間期において、営業外収益としてテナント解約収入2億79百万円を計上した影響を受けております。

中間純利益は、固定資産の減損処理に伴う減損損失3億6百万円を計上したことにより、48百万円（前年同期比25.5%）となりました。

■ 営業収益



連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円・百万円未満切捨)

科 目	当中間期	前中間期
	2005年4月1日から 2005年9月30日まで	2004年4月1日から 2004年9月30日まで
営業収益	42,216	45,628
売上高	40,716	44,126
不動産賃貸収入	1,500	1,501
売上原価	32,353	35,283
(売上総利益)	8,362	8,843
営業総利益	9,862	10,345
販売費及び一般管理費	9,569	10,017
営業利益	293	328
営業外収益	334	596
営業外費用	165	178
経常利益	462	745
特別利益	2	4
特別損失	306	371
税金等調整前中間純利益	157	379
法人税、住民税及び事業税	103	210
少数株主損益	△5	20
中間純利益	48	189

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円・百万円未満切捨)

科 目	当中間期	前中間期
	2005年4月1日から 2005年9月30日まで	2004年4月1日から 2004年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	752	1,292
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,250	△1,140
財務活動によるキャッシュ・フロー	155	△124
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額	△341	27
現金及び現金同等物の期首残高	1,765	1,577
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,423	1,605

キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費などにより、7億52百万円の収入となりました。前中間期との差は、クレジット・カード利用増加等に伴う売上債権の増加などによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前期末に開業した「MrMax千葉美浜店」（千葉市）の建物など有形固定資産の取得などにより、12億50百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の増加などにより、1億55百万円の収入となりました。

単体貸借対照表(要旨)

(単位:百万円・百万円未満切捨)

科 目	当中間期 2005年9月30日現在	前 期 2005年3月31日現在
資産の部		
流動資産	11,246	11,537
(うち商品)	8,029	8,434
固定資産	64,516	65,206
有形固定資産	51,595	52,401
無形固定資産	1,024	874
投資その他の資産	11,895	11,930
資産合計	75,762	76,743
負債の部		
流動負債	25,446	24,187
固定負債	21,828	24,031
負債合計	47,274	48,218
資本の部		
資本金	10,229	10,229
資本剰余金	9,944	9,944
利益剰余金	9,187	9,332
其他有価証券評価差額金	93	△17
自己株式	△967	△965
資本合計	28,487	28,524
負債及び資本合計	75,762	76,743

単体損益計算書(要旨)

(単位:百万円・百万円未満切捨)

科 目	当中間期 2005年4月1日から 2005年9月30日まで	前中間期 2004年4月1日から 2004年9月30日まで
営業収益	41,000	44,475
売上高	39,474	42,940
不動産賃貸収入	1,525	1,535
売上原価	31,378	34,323
(売上総利益)	8,096	8,616
営業総利益	9,621	10,152
販売費及び一般管理費	9,347	9,784
営業利益	274	368
営業外収益	335	595
営業外費用	164	180
経常利益	445	783
特別利益	2	4
特別損失	306	371
税引前中間純利益	141	416
法人税、住民税及び事業税	103	209
中間純利益	38	206
前期繰越利益	438	309
中間未処分利益	476	516

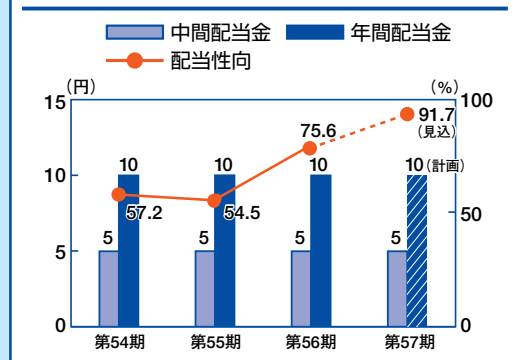
中間配当金についてのお知らせ

2005年11月25日開催の当社取締役会において、第57期(2005年4月1日から2006年3月31日まで)の中間配当金につきまして、下記のとおり決議されました。

1. 中間配当金 1株につき5円
2. 支払対象者 2005年9月30日の最終の株主名簿および
実質株主名簿に記載または記録された株主または登録質権者
3. 支払開始日 2005年12月6日(火)

なお、当期の年間配当金は、1株につき10円を予定しております。今後も株主のみならずさまへの利益還元を最も重要な課題の一つと考え、経営にあたってまいります。

配当金・配当性向の推移



会社概要 (2005年9月30日現在)

- 社名 株式会社ミスターマックス
- 創業 1925年10月
- 設立 1950年12月
- 資本金 10,229百万円
- 従業員数 733名
- 本部所在地 〒812-0064
福岡市東区松田一丁目5番7号
電話 092-623-1111(代表)
ホームページ <http://www.mrmax.co.jp/>

●ホームページのご案内

ミスターマックスの
ホームページで、
投資家様向けの情報を
掲載しております。

<http://www.mrmax.co.jp/ir/>

- ・投資家の皆様へ
(トップ・メッセージ)
- ・決算情報
- ・ニュースリリース
- ・業績の推移
- ・株主情報
- ・よくいただくご質問(Q&A)
などがご覧いただけます。



●役員

代表取締役会長	平野比七志
代表取締役社長	平野能章
常務取締役	樋口一夫
常務取締役	小田康德
常務取締役	佐藤昭彦
取締役	吉田康彦
取締役	石田富英雄
取締役	中野英一
常勤監査役	松本淳
監査役	岩木宗春
監査役	村山勇吉
監査役	岩崎明弘

店舗一覧 (2005年9月30日現在)

関東地区 (6店)

千葉県

- 新習志野店 (047-408-1160)
- 千葉美浜店 (043-302-0381)
- おゆみ野店 (043-300-5505)

群馬県

- 太田東店 (0276-20-2550)
- 倉賀野店 (027-346-8181)
- 伊勢崎店 (0270-26-8181)

中国地区 (8店)

広島県

- 神辺店 (084-963-7711)
- 八本松店 (082-428-7633)

山口県

- 柳井店 (0820-23-8880)
- 末武店 (0833-41-5200)
- 山口店 (083-921-8300)
- 宇部店 (0836-58-1000)
- 小野田店 (0836-84-8500)
- 綾羅木店 (0832-55-4300)

九州地区 (27店)

福岡県

- 長住店 (092-551-2345)
- 野芥店 (092-863-2345)
- 橋本店 (092-811-6800)
- 土井店 (092-691-7111)
- 白水店 (092-501-2000)
- 大野城店 (092-591-1800)
- 粕屋店 (092-623-1001)
- 新宮店 (092-963-5010)
- 宗像店 (0940-32-8111)
- 本城店 (093-692-5500)
- 木屋瀬真名子店 (093-618-7733)
- 富野店 (093-522-1777)
- 久留米インター店 (0942-45-7300)
- 大牟田店 (0944-43-2500)
- 飯塚花瀬店 (0948-21-0123)
- 田川バイパス店 (0947-46-1011)

佐賀県

- 佐賀店 (0952-41-6300)
- 北茂安店 (0942-89-1550)

長崎県

- 長崎店 (095-818-1110)

熊本県

- 熊本南店 (096-311-2555)
- 熊本インター店 (096-380-7788)
- 山鹿店 (0968-43-8800)
- 松橋店 (0964-32-4111)

大分県

- 中津店 (0979-23-2345)
- 佐伯店 (0972-23-6511)
- 宇佐店 (0978-34-9770)

宮崎県

- 日向店 (0982-53-5251)

株式の状況 (2005年9月30日現在)

- 会社が発行する株式の総数 80,000,000株
- 発行済株式の総数 39,611,134株
(注) 当中間期中の増減はありません。
- 1単元の株式の数 100株
- 株主数 12,641名
- 大株主 (上位10名) 持株数 単位=千株
持株比率 単位= %

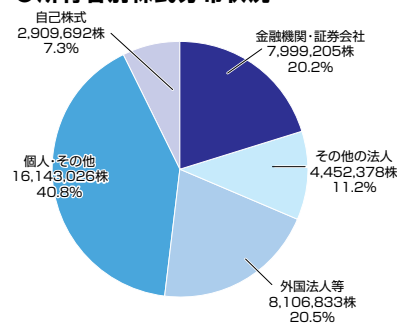
株主名	持株数	持株比率
ヒラノマネージメントピーヴイ	6,435.5	16.24
平野能章	1,857.3	4.68
有限会社 Waiz Holdings	1,830.0	4.61
株式会社福岡銀行	1,404.2	3.54
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,256.5	3.17
ロンパー・オディエ・ダリエ・ヘンチ	1,165.0	2.94
平野淳子	1,144.9	2.89
Mr Max 社員持株会	1,082.3	2.73
ミスターマックス取引先持株会	999.3	2.52
日本興亜損害保険株式会社	801.2	2.02

- (注) 1. 株数数は百株未満を切り捨てて表示しております。
2. 当社は自己株式2,909.6千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。

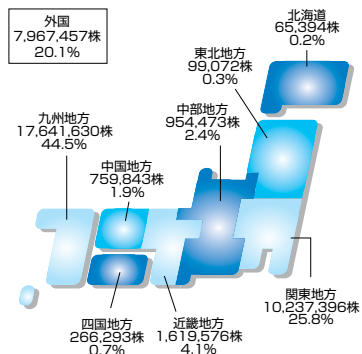
株主メモ

- 決算期** 3月31日
- 定時株主総会開催基準日** 6月
- 定時株主総会の基準日 3月31日
その他必要があるときは、取締役会で決議し、あらかじめ公告する一定の日
- 配当金受領株主確定日**
利益配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
- 1単元の株式の数** 100株
- 公告掲載新聞**
日本経済新聞
当社は、貸借対照表及び損益計算書を、決算公告に代えて、ホームページに掲載いたしております。
<http://www.mrmaco.jp/ir/account/koukoku.html>
- 上場証券取引所**
東京証券取引所市場第一部、福岡証券取引所

●所有者別株式分布状況



●地域別株式分布状況



- 名義書換代理人**
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所**
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- (同送付先)**
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話(通話料無料) 0120-232-711
- 同取次所**
三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
野村證券株式会社 全国本支店

当社名義書換代理人「UFJ信託銀行株式会社」は、2005年10月1日付で「三菱信託銀行株式会社」と合併し、「三菱UFJ信託銀行株式会社」となりました。

株主のみなさまへのお知らせ

配当金のお受取りは、
便利な「口座振込」をおすすめします。

配当金のお受取りは、
次のいずれかをご利用いただけます。

- ・郵便貯金口座への振込み
- ・銀行口座への振込み
- ・郵便振替支払通知書によるお受取り

「口座振込」をご利用いただくと、配当金の受取忘れや、郵便振替支払通知書の紛失などのご心配がなくなり、安全、確実に配当金をお受取りいただけます。

「口座振込」によるお受取りには、あらかじめ「配当金振込指定書」のご提出が必要となりますので、ご希望の方は、下記の三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部へお申し出ください。

株券不発行制度について

2004年6月に「株券不発行制度」に関する法律が公布され、公開会社の株券は、2009年6月までに一斉に電子化（ペーパーレス化）されることになりました。これにより、現在発行されている株券は無効となりますが、株主様のお名前が株主名簿に記載されている限り、株主様としての権利は従来と同様に保護されます。

現在、証券保管振替制度をご利用でなく、お手元に株券をお持ちの株主様は、将来に備えて、株券がご自分の名義になっているかどうかをご確認のうえ、異なる名義の場合は、名義書換手続きをおこなっていただきますようお願いいたします。なお、証券保管振替制度をご利用の場合は、新制度にそのまま移行されますので手続きは不要です。

証券保管振替制度のご利用のお申込み、お問い合わせにつきましては、お近くの証券会社にお問い合わせください。

株式事務に関するお問い合わせ・郵便物送付先

〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目 10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話（通話料無料） 0120-232-711

お手続き用紙のご請求は、電話（音声自動回答）およびインターネットでも24時間承っております。

●電話（通話料無料） 0120-244-479（本店証券代行部） ●インターネット <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>
0120-684-479（大阪証券代行部）

保管振替制度をご利用の場合は、株券を預託されている証券会社等にお問い合わせください。

◆◆◆◆◆ アンケートご協力をお願い ◆◆◆◆◆

当社では、株主のみなさまへの情報提供を充実させていきたいと考えております。つきましては、みなさまのご意見を伺いたく、アンケートを実施いたします。誠にお手数ではございますが、同封のアンケートハガキにご記入のうえ、ご投函くださいますようお願い申し上げます。

アンケートでいただいたご意見を、今後のIR活動の参考にさせていただきますので、ぜひ、ご協力をお願い申し上げます。

アンケートにご協力いただきました方の中から、抽選で50名の方に、当社プライベート・ブランド商品をプレゼントさせていただきます。

株主のみなさまのご応募をお待ちしております。（当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。）

尚、アンケートのご返送は、2006年1月15日までにお願いいたします。

持たない理由が
見つからない。



新・MrMaxカード登場!!

詳しくはMrMax店内の「新・MrMaxカード受付カウンター」まで!